

令和7年3月14日

那須烏山市議会議長 青 木 敏 久 様

総務企画常任委員会委員長 興 野 一 美

予算審査結果報告書

本委員会に令和7年3月4日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日 令和7年3月5日（水）、6日（木）、7日（金）

2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室

3 出席委員 興野一美、高木洋一、小堀道和、田島信二、高田悦男

4 説明のための出席者

会計管理者兼会計課長 高田勝、参事兼総合政策課長 小原沢一幸、まちづくり課長 大鐘智夫、参事兼総務課長 佐藤博樹、税務課長 川俣謙一、議会事務局長 菊地唯一、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和7年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・なすからSNS管理運営について、市政情報のLINEセグメント配信の本格運用がスタートし、住民ニーズにきめ細かく対応した情報発信が可能となる。その費用対効果を検証しつつ、さらなる効果的な市政情報の配信と行政サービスの向上を図られたい。

- ・業務系・情報系システム及び総合行政ネットワーク管理運営費において、多額の関連経費が計上されている。第5次L G W A Nの導入によりセキュリティの確保と利便性の向上、より一層の安定化が図られるが、これらの投資をすることで業務が省力化・効率化されたことが明確にわかるような検証方法を検討されたい。

まちづくり課

- ・デマンド交通について、一定の利用者を獲得している一方、多大な運行経費が掛かっている。コールセンター方式等、委託内容の見直しと効率化を図るとともに、隣接市町への接続など、より利用者のニーズに合わせた運行形態を検討されたい。
- ・魅力あるまちづくりのため、地域の活性化や課題解決を目的に、市民団体・まちづくり団体への補助金は有用であるが、補助金終了後も自主的かつ継続的な活動ができるよう、補助金採択後の団体からの事業進捗や報告方法を工夫されたい。
- ・ふるさと応援寄附金について、掲載ポータルサイト数と返礼品のメニューを増やしたことで、寄附獲得額が大幅に増額となったことは大いに評価したい。さらなる寄附額の拡大に向け、魅力ある新たな返礼品の充実を図られたい。
- ・地域おこし協力隊について、なすからブランド認証商品のP R、販売促進の取り組みに特化した隊員が着任すると伺っている。那須烏山市を全国に発信し、一層の産業振興及び地域産業活性化に寄与されることを期待したい。
- ・市職員向けに、新たにシティプロモーション研修を企画した取り組みは評価する。移住定住、ふるさと納税、観光客や来訪者から「選ばれる」地域に結び付く活動となるよう期待したい。

総務課

- ・職員採用試験における受験者の一層の確保を図るため、先駆けてテストセンター方式を導入したことが功を奏し、人材が集まったことは一定の効果があつたと認められる。市職員として働く魅力やインターンの受入れ等、情報発信を効果的に行き、人材確保策を引き続き講じられたい。
- ・職員給与について、初任給や賃金の引上げ、地域手当の追加、扶養手当の見直しが行われる。今後は管理職手当についても昨今の情勢に見合った適切な見直しを検討され、市民の理解と納得を得られるよう、人事給与制度の運用に努められたい。
- ・地域防災の中核的存在として大きな役割をはたしている消防団員の確保は喫緊の課題である。条例定数の見直しは行ったところであるが、定員割れの状況であり、分団部の再編、被雇用者団員の採用、女性団員の採用拡大などを進め、団員数の確保に努められたい。

税務課

- ・大口滞納者への対応について、継続した督促や積極的に面談を行うなど、回収に向けた努力を続けていることは評価したい。その他の滞納者についても実態把握に努め、収納未済額の縮減と徴収率の向上に向け、引き続き努力されたい。

会計課

- ・ 公金取扱いに係る振込手数料有料化への対応として、全庁的に振込方法を名寄せ払いに変更し、振込手数料の削減を図ったことは評価したい。引き続き高い利回りの運用と適正な会計事務の執行に努められたい。